国立大学法人 富山大学医学部 930-0194 富山市杉谷2630番地

TEL 076-434-2281代)

 $E\text{-}mail:medicine@med.u-toyama.ac.jp}$

講座	役職	氏名	研究
解剖学	教授	大谷 修	・リンパ管の新生・再生機構の解明
	准教授	大谷 裕子	・リンパ管・微小血管三次元構築の研究
			・生物組織観察のための顕微鏡技術の開発
			-・人体解剖による形態形成の原則の解明 - 臨床解剖学
システム情動科	教授	西条 寿夫	」・鯔床 <u>牌司子</u> ・大脳辺縁系ニューロンネットワークによる情報処理機構
ンベノム情動符 学	准教授	堀 悦郎	・大脳と縁ポーユーロンペットノークによる情報が延慢機 ・空間認知とエピソード記憶形成の脳内メカニズム
7	助教	松本に存む	・非言語的コミュニケーションの神経機構
	助教	Nguyen Minh	・順列の学習・認知に関する神経機構
	-33.32	Nui	・後部帯状回における感覚、運動、感情および学習に対するニューロン応答特性
			・空間移動連想課題における脳波シータ波の変動
統合神経科学	教授	田村 了以	・海馬体と記憶
	准教授	永福 智志	・刺激位置識別応答ニューロン
	助教	上野 照子	・場所ニューロン
	助教	杉森 道也	・海馬体脳波と動物の移動様式
			・サル海馬体におけるシナプス可塑性
			・視覚認知と視覚長期記憶の神経機構
	47-1-120	井ノロの馨	・情動・記憶の脳内機構に関する行動学的・神経生理学的研究 ・遺伝子制御と記憶
土化子	教授 助教	ガノロ 客 川口 博	・退伝于前仰と記憶 ・シナプス形態の可塑性と記憶
	助教助教	大川 宜昭	・シナプスタグと記憶
	助教	カル 直唱 鈴木 章円	・クケックと記憶 ・生後脳の神経新生と恐怖記憶の処理過程
	特命助教	斎藤 喜人	・記憶アップデートの分子・細胞メカニズム
	特命助教	鈴木 玲子	・PTSDの根本的な予防法・治療法の創出
	特命助教	Mohammad	TOSO KATATO TOS ASSESSED ASSESSEDA
		Hassan	
	4+ A DL #L	Abdelrahman	
	特命助教 特命助教	村山絵美	
	特命助教	横瀬 淳 野本 真順	
分子神経科学	教授	<u></u>	・グルタミン酸受容体(以下GluRと記す)チャネル分子に焦点を当てた遺伝子
/J J 1 T N X 1 A T	准教授	小川 宏文	ノックアウトマウスの作成と解析
	助教	石本 哲也	・マウスを行動学的データが豊富にあり学習に優れたC57BL/6系統に統一し、
	助教	井上蘭	それらを用いたマウス解析システム確立(共同)
			・認知・情動・社会性の分子機構
			・生体マウス脳内での分子イメージング
			・免疫系による脳機能修飾機構の解析
			・羊膜を用いた再生医療研究
再生医学	教授	二階堂 敏雄	
再生医学	准教授	吉田 淑子	- 組織工学的研究
再生医学	准教授 助教	吉田 淑子 岡部 素典	・組織工学的研究 ・癌幹細胞の研究
	准教授 助教 助教	吉田 淑子 岡部 素典 小池 千加	•癌幹細胞の研究
	准教授 助教 助教 教授	吉田 淑子 岡部 素典 小池 千加 井村 穣二	
	准教授 助教 助教 教授 准教授	吉田 岡部 木 大 大 大 大 大 大 村 で 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	•癌幹細胞の研究
	准教授 助教 教授 教授 准教授 助教	吉田部池 子典加井 常 幸 中博	•癌幹細胞の研究
病理診断学	准助助教授 教教授 教教授 授 教教教教教教教	吉岡小井村山本 神田 神田 神田 神田 神田 神田 神田 神田 神田 中田	・癌幹細胞の研究 -
病理診断学	准助助教准助助教 授教教授教教教 授教教授	吉岡小井常野本 伊田 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	・癌幹細胞の研究
病理診断学	准勒勒 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 授 教 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 授 教 授 授 長 長 長 長	吉岡小井常野林 笹石田部池村山本 伸原井 下	・癌幹細胞の研究 -
病理診断学 病態・病理学	准助助教准助助教 授教教授教教教 授教教授	吉岡小井常野林 笹石濱申田部池村山本 伸原井島 杰淑素千穣幸一一正陽丈人,大大大大,大大大,大大大,大大大,大大大,大大,大大,大大,大大,大大,大大	・癌幹細胞の研究
病理診断学 病態·病理学	准助助教准助助教准助助教准助助教准的的教授教教教授教教教授教教教授教教教授授授授授	吉岡小井常野林 笹石濱島田部池村山本 伸原井島工一博 清子	・癌幹細胞の研究
病理診断学 病態 • 病理学	准助助教准助助教准助助教准 教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教	吉岡小井常野林笹石濱申村岸田部池村山本 伸 原井島 四 裕素千穣幸一一正陽丈 篤幸子典加二一博 清子	 ・癌幹細胞の研究 ・血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 ・新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明
病理診断学 病態 • 病理学	准助助教准助助教准助助教准助助教准的教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小田部池村山本 伸原井島 口 澤	 ・癌幹細胞の研究 ・血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 ・新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明
病理診断学 病態·病理学 免疫学	准助助教准助助教准助助教准助助教准助助教准教教教授教教教授教教教授教教教授教教教	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小田部池村山本 順井島 口 澤林淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄子典加二一博 清子 彦治	- ・ 塩中細胞の研究 - ・ 血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明・新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明 ・ 個の免疫医療システムの開発(知的クラスター創成事業)
病理診断学 病態·病理学 免疫学	准助助教准助助教准助助教准助助教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授授教教教授授授授授授授	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小白田部池村山本 原井島 口 澤林木淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄公子典加二一博 清子 彦治康	・癌幹細胞の研究 ・血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 ・新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明 ・個の免疫医療システムの開発(知的クラスター創成事業) ・ヘルペスウイルスの研究
病理診断学 病態·病理学 免疫学	准助助教准助助教准助助教准助助教准的助教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教授教教授教授	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小白大田部池村山本 原井島 口 澤林木黒淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄公徹子典加二一博 清子 彦治康	- ・
病理診断学病態・病理学免疫学	准助助教准助助教准助助教准助助教准助教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小白大武田部池村山本 原井島 口 澤林木黒本淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄公徹眞子典加二一博 清子 彦治康 清	・癌幹細胞の研究 ・血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 ・新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明 ・個の免疫医療システムの開発(知的クラスター創成事業) ・ヘルペスウイルスの研究 ・インフルエンザウイルスの研究
病理診断学病態・病理学免疫学	准助助教准助助教准助助教准助助教准助教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小白大武服田部池村山本 原井島 口 澤林木黒本部淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄公徹眞裕子典加二一博 清子 彦治康 清一	・癌幹細胞の研究 ・血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 ・新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明 ・個の免疫医療システムの開発(知的クラスター創成事業) ・ヘルペスウイルスの研究 ・インフルエンザウイルスの研究 ・牧血症病態の解明、炎症性疾患の病因解明とそれらの新規治療方法の探索
病理診断学病態・病理学免疫学	准助助教准助助教准助助教准助助教准助教程的教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教授教教授教教授教教授教教授教授教授 授 授 授	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小白大武服横田部池村山本 原井島 口 澤林木黒本部尾淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄公徹眞裕宏子典加二一博 清子 彦治康 清一毅	・癌幹細胞の研究 ・血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 ・新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明 ・個の免疫医療システムの開発(知的クラスター創成事業) ・ヘルペスウイルスの研究 ・インフルエンザウイルスの研究 ・サ血症病態の解明、炎症性疾患の病因解明とそれらの新規治療方法の探索 ・糖尿病性血管内皮細胞機能障害の分子病態機構の解明とその予防法の開発
病理診断学病態・病理学免疫学	准助助教准助助教准助助教准助助教准助教授教教教授教教教授教教教授教教教授教教教授	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小白大武服田部池村山本 原井島 口 澤林木黒本部淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄公徹眞裕子典加二一博 清子 彦治康 清一	・癌幹細胞の研究 ・血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 ・新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明 ・個の免疫医療システムの開発(知的クラスター創成事業) ・ヘルペスウイルスの研究 ・インフルエンザウイルスの研究 ・牧血症病態の解明、炎症性疾患の病因解明とそれらの新規治療方法の探索 ・糖尿病性血管内皮細胞機能障害の分子病態機構の解明とその予防法の開発 ・受容体シグナル伝達分子の発現調節機構および神経インスリン受容体シグナ
病理診断学 病態・病理学 免疫学 ウイルス学 分子医科薬理学	准助助教准助助教准助助教准助助教准助教准助教报教教授教教教授教教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小白大武服横田田部池村山本 原井島 口 澤林木黒本部尾口淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄公徹眞裕宏久子典加二一博 清子 彦治康 清一毅美子典加二一博 清子 彦治康 清一殺美	- 癌幹細胞の研究 - 血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 - 新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明 - 個の免疫医療システムの開発(知的クラスター創成事業) - ヘルペスウイルスの研究 - インフルエンザウイルスの研究 - 牧血症病態の解明、炎症性疾患の病因解明とそれらの新規治療方法の探索 - 糖尿病性血管内皮細胞機能障害の分子病態機構の解明とその予防法の開発 - 受容体シグナル伝達分子の発現調節機構および神経インスリン受容体シグナルの解析
再生医学 病理診断学 病態・病理学 免疫学 ウイルス学 分子医科薬理学 放射線基礎医学	准助助教准助助教准助助教准助助教准助教准助 教教教授教教授教教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授授授 授 授 授	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小白大武服横田 近田部池村山本 原井島 口 澤林木黒本部尾口 藤淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄公徹眞裕宏久 隆子典加二一博 清子 彦治康 清一毅美子	・癌幹細胞の研究 ・血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 ・新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明 ・個の免疫医療システムの開発(知的クラスター創成事業) ・ヘルペスウイルスの研究 ・インフルエンザウイルスの研究 ・牧血症病態の解明、炎症性疾患の病因解明とそれらの新規治療方法の探索 ・糖尿病性血管内皮細胞機能障害の分子病態機構の解明とその予防法の開発 ・受容体シグナル伝達分子の発現調節機構および神経インスリン受容体シグナルの解析 ・アポトーシス機構の解明とその制御
病理診断学 病態・病理学 免疫学 ウイルス学 分子医科薬理学	准助助教准助助教准助助教准助助教准助教准助教报教教授教教教授教教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授教教授	吉岡小井常野林笹石濱申村岸小小白大武服横田田部池村山本 原井島 口 澤林木黒本部尾口淑素千穣幸一一正陽丈 篤幸龍栄公徹眞裕宏久子典加二一博 清子 彦治康 清一毅美子典加二一博 清子 彦治康 清一殺美	- 癌幹細胞の研究 - 血小板由来増殖因子(PDGF)の脳における役割の解明 - 新しく分離同定された転写調節因子 ATBF1 の機能解明 - 個の免疫医療システムの開発(知的クラスター創成事業) - ヘルペスウイルスの研究 - インフルエンザウイルスの研究 - 牧血症病態の解明、炎症性疾患の病因解明とそれらの新規治療方法の探索 - 糖尿病性血管内皮細胞機能障害の分子病態機構の解明とその予防法の開発 - 受容体シグナル伝達分子の発現調節機構および神経インスリン受容体シグナルの解析

講座	役職		5名	研究
保健医学	准教授	関根	道和	・小児期からの総合的な健康づくりに関する調査研究
1) m /h- 11 24	助教	立瀬		・ストレスと健康に関する調査研究
公衆衛生学	教授 准教授	稲寺 寺西		・エコチル調査
	助教	浜崎		
	助教	崔正		
法医学	教授 助教	西田畑 由		・虚血性心疾患、心筋症などによる突然死の形態、遺伝子解析 ・房室伝導系の解剖(発生を含む)病理
	助教助教	木下		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	7117	* *	171 🗻	・乳幼児突然死の病理
				・内因性疾患により発症した不慮の事故死(特に入浴関連死)例の解析
				・医療行為中の突然死の解析 ・本邦におけるよりよい剖検システムのあり方
医学教育学	准教授	廣川	慎一郎	- 一
内科学(第一)	教授	戸邉	一之	◆糖尿病・代謝・内分泌
【糖尿病•代謝•	診療教授	薄井		・型糖尿病の成因解明、
内分泌】	専門医養成支援センター特命	石木	字	・糖尿病の原因遺伝子の解明とオーダーメード医療の開発
	准教授			◆リウマチ・膠原病
	地域医療支援	岩田	実	・破骨細胞の分化、活性化を抑制する薬剤、即ち関節破壊に有効な薬剤の
	学 客員准教 授教授			開発に貢献するための研究
	診療准教授	福田	<i>\</i> -	
	診療講師	小清水	く 由紀子	◆呼吸器・アレルギー
【リウマチ・膠原	診療教授	多喜		・喘息、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、肺癌、肺炎、間質性肺炎など、気管支
病】	診療准教授			や肺のさまざまな疾患とアレルギー疾患の研究
【呼吸器・アレル	診療講師 診療教授	朴木 林 龍		
ギー】	保健管理セ			
	ンター准教授			
	診療教授 診療指導医	二輪	与 在 白 【	
	診療准教授		徹	
内科学(第二)	教授	井上	博	◆不整脈グループ
	准教授	能澤		・ベプリコールの持続性心房細動に対する高い有効性(除細動効果)に早く
	講師講師	供田 平井		から着目しその成果を医学専門誌や学会で発表 ・高周波カテーテルアブレーション(焼灼術)による不整脈の根治療法や突然死
	助教	十 <i>十</i> 亀山		・
	助教	城宝	秀司	治療
	助教	藤井		・薬剤抵抗性の難治性心不全患者に対する心室再同期(両心室ペーシング)
	助教 助教	鍵谷 西田		療法(CRT) ・"CARTO"というナビゲーションシステムによる詳細な3次元マッピング
	助致臨床倫理セン	水牧		・自律神経と関連した不整脈の研究
	ター・准教授			・高頻度ペーシングによる心房細動モデルを用い心房細動の機序の解明(基礎)
	保健管理センター・准教授	中川	圭子	<u> </u>
	附属病院透	小湖	#1	◆虚血グループ ・虚血性心疾患
	析部•助教	11,15	主儿	一座山上心大志
	M HP ->333X			◆心エコーグループ
				・心エコー
				◆腎臓グループ
				▼育臓グループ ・食塩感受性高血圧における腎内微小循環の異常の成因と治療に関する研究
				・高血圧性臓器障害における繊維化の成因に関する研究
				・糸球体腎炎の成因に関する研究
				・高血圧の根治療法を確立する目的で、遺伝性の自然発症高血圧ラットにおいて
				高血圧発症早期にレニン・アンジオテンシン系阻害を施行し、その後の血圧の推 移を調べ同時に血圧の関連因子を分子生物学的な手法により解析中
内科学(第三)	教授	杉山		◆消化管グループ
	准教授	高原		・ヘリコバクター・ピロリ感染治療と胃がん、胃マルトリンパ腫
	講師講師	峯村 安村		・機能性消化管疾患の分子機構と新規治療標的分子 ・非ステロイド系鎮痛剤による小腸潰瘍の発症機序と新規治療薬
	마유마	女利 血部)		・非ステロイト系導涌剤による小肠損湯の先症候序と新規治療楽 ・潰瘍性大腸炎、クローン病の分子標的治療
	講師	細川	歩	・消化管間質腫瘍(GIST)の分子標的治療
	助教	村上	純	・消化器癌の放射線化学療法や分子標的薬を用いた集学的治療
	助教	宮園		- 消化器癌の内視鏡治療(内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術) - 男会道道流点(CERD)
	助教 助教	田尻藤浪	和人 斗	•胃食道逆流症(GERD)
	助教	安藤		◆消化器腫瘍グループ
			-	•食道癌
				→胃癌
				- 大腸癌 - 膵癌
				17 + /LLI

講座	役職	氏名	研究
			◆肝臓グループ
			・幹細胞を用いた臓器再生治療
			・新規増殖因子Metron Factor-1 (MF-1)の開発
中市い当	±4-1-∞	きょう 中文	・肝線維化機序の解明と新しい治療法の開発
皮膚科学	教授 准教授	清水 忠道 牧野 輝彦	◆皮膚アレルギー免疫解析グループ ・炎症性サイトカインと皮膚疾患―特にアトピー性皮膚炎との関連―
	講師	乗杉 理	・炎症性サイトカインと紫外線の皮膚に及ぼす影響
	助教	松井恒太郎	・水泡性類天疱瘡の発症メカニズムに関する研究
	助教	三澤恵	◆角化症解析グループ
	助教	竹上 與志昌	・表皮角化細胞の分化増殖に関する研究
	助教	原寛	・ 角化誘導機序の解明と治療への応用
	助教	清水 教子	◆漢方解析グループ
L ID C.I W	#/ I=		・漢方治療のエビデンスを確立のための研究
小児科学	教授	宮脇 利男	◆血液・免疫グループ ○臨床
	准教授 准教授	市田 蕗子 吉田 丈俊	○脇床 ・X連鎖無ガンマグロブリン血症(XLA)の診断ならびに病態解析
	講師	足立 雄一	・X連鎖リンパ増殖症候群(XLP)の診断ならびに病態解析
	講師	金兼 弘和	・自己免疫性リンパ増殖症候群(ALPS)の診断ならびに病態解析
	助教	牧本 優美	・IPEX症候群の診断ならびに病態解析
	助教	野村 恵子	・Shwachman-Diamond症候群の診断ならびに病態解析
	助教	板澤 寿子	
	助教	種市 尋宙	◆未熟児・新生児グループ
	助教	廣野 恵一	・骨系統疾患の遺伝子診断やその機能解析
	助教	宮一志	・また母乳と新生児腸管免疫との関係
	助教 特命助教	渡辺 一洋 田中 朋美	・母乳の成分解析 ・子宮内環境悪化により胎児が受けたストレスが将来的に成人病発症に関与す
	助教	齋藤 和由	「丁宮内境現志化により加光が支げたストレスが有未的に成入病光症に関すす」 しいうDOHaD説の研究
	特命助教	星野 顕宏	で、プロOTTaD my 元
	14 14 17	主幻 政丛	◆循環器グループ
			・心筋緻密化障害の遺伝子解析、不整脈や神経調節性失神の遺伝子解析
			・心筋緻密化障害の臨床像と、心臓再同期療法を含む治療法の研究
			・川崎病冠動脈障害進展機序に関する研究(CyA, micro RNA, TLRなど)
			・川崎病の重症度の層別化と治療法選択に関する研究
			・組織ドプラ心エコー法を用いた胎児心機能の解析
			◆アレルギー・呼吸器グループ
			▼プレルマー・Fixxのプレープ
			に測定の臨床的意義に関する研究
			・小児喘息におけるコントロールレベルの定量化とその臨床的有用性に関する研
			究
			・小児の重症喘息発作に対する治療法の安全性と有効性に関する研究
			・食物アレルギーにおける食物負荷試験の安全性に関する研究
			・食物アレルギーに対する経口免疫療法の有効性に関する研究
			A 14.00 L° —?
			◆神経グループ ・脳内のNMDA受容体に対する自己抗体や溶連菌感染にともなう自己免疫性の
			「個内のNMDA支谷体に対する自己机体や冷建圏窓来にともなり自己免疫性の 中枢神経疾患に関して研究
神経精神医学	教授	鈴木 道雄	◆臨床画像
14.474414.57	准教授	住吉 太幹	・脳画像による統合失調症の病態解明
	講師	上原 隆	
	助教	高橋 努	◆臨床神経生理
	助教	中村 主計	・デジタル脳波計を用いて安静時と課題遂行時の脳波、および終夜睡眠脳波
	助教	樋口 悠子	を測定し、最新のコンピュータ技術を駆使した解析をもとに研究
	助教	松岡理	▲ rs rs 被 rm
	助教	池田 英二	│◆臨床薬理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			・統合失調症圏患者の認知・社会機能の向上をターゲットとした薬物療法の開発 ・
			◆遺伝子解析
			▼恩は1 jff70 ・分子遺伝学的手法を用いた研究
			77 1 ACIM 1 HJ 1 MAC/114 (CVI)/U
			◆薬理·生化学(基礎)
			・統合失調症の認知機能障害や社会的行動の異常などをターゲットとした、新規
11 + 1 + 2	141 1-		治療薬の開発
放射線医学	教授	瀬戸光	-
	准教授	野口 京	
	助教 助教	亀田圭介 森尻 実	
	炒沃	イベルレ 大	I and the second

	役職	氏名	研究
外科学(第一)	教授	芳村 直樹	・肝胆膵悪性腫瘍の診断学および治療学
【心臓血管外科】	講師	深原 一晃	・消化器悪性腫瘍の診断学および治療学
	講師 助教	山下 昭雄 土居 寿男	・門脈圧亢進症の病態生理と治療 ・接着分子を介した癌の転移メカニズム
【小児循環器外	教授	芳村 直樹	・肝虚血再灌流障害と肝細胞アポトーシス
科】	助教	日隈 智憲	・直腸癌における人工肛門回避手術
【呼吸器一般外 科】	講師	土岐 善紀	・異種肝移植の基礎的研究
外科学(第二)	教授	塚田 一博	・外科感染症の制御に関する研究
	准教授	嶋田 裕	・癌幹細胞の研究
	准教授	廣川 慎一郎 (医学教育学)	・細胞培養による再生医療
	准教授	魚谷 英之(光	・分子生物学を応用したトランスレーショナルリサーチ
	-44.4-	学医療診療	
	講師 助教	長田 拓哉 吉田 徹	
	助教	澤田成朗	
	助教	奥村 知之	
	助教 助教	吉岡 伊作 松井 恒志	
	助教	渋谷 和人	
脳神経外科学	教授	黒田 敏	・セプチンアンチセンス遺伝子による悪性グリオーマ遺伝子治療法の開発
	准教授 病院講師	桑山 直也 浜田 秀雄	・組換え単純ヘルペスウイルスを用いた脊髄損傷ラットに対する遺伝子治療 の基礎的研究
	病院講師	永井 正一	・クモ膜下出血(SAH)後の脳血管攣縮および脳虚血後の再潅流傷害における
	助教	旭 雄士	血小板活性化因子(PAF)の役割
	病院助教 病院助教	黒崎 邦和 秋岡 直樹	・硬膜動静脈瘻の成因と進行機序に関する研究
	助教	村崎 大奈	〇共同研究
	病院特命助		・双極子追跡法による脳機能マッピングに関する生理学的研究: 本学医学部生
	教		理学第二 ・脳における成長、発達に関連する蛋白質の研究: 本学医学部生化学第一
			・グルタミン酸神経毒性におけるアポトーシス:本学医学部解剖学第一、本学医
			学部免疫学
			・glioma の悪性化に伴う特異的遺伝子発現に関する研究: 新潟大学脳研分子神 経病理学
			*PAFacetylhydrolase 遺伝子の神経細胞への遺伝子導入: 帝京大学薬学部生物
			物理学、九州大学心臓血管研究施設内科
			・MEG を用いた脳機能の分析: ニューメキシコ大学 Medical Center・実験ラットモデルを用いた先天性水頭症の成因解明: Case Western Reserve 大
			「実験プライン)がを用いた元人性小頭症の成因解明: Gase Western Reserve 人 学脳神経外科
整形外科学	教授	木村 友厚	◆関節外科、スポーツ整形外科班
	准教授 講師	川口 善治 松下 功	・人工膝関節置換術における軟部組織バランスの最適化と術後の膝関節3次元 動態解析
	講師	長田 龍介	・新しい人工膝関節の導入と手術手技の確立
	助教	下条 竜一	・靭帯再建術後の膝関節機能評価
	助教 助教	安田 剛敏 杉森 一仁	・培養軟骨細胞による軟骨再生の臨床応用 ・羊膜由来の細胞外マトリックスを利用した新規Cell-free scaffoldを用いた
	助教	関 庄二	軟骨修復
	助教	元村 拓	・腱板の断裂形態の詳細とMRIとの関連
			・肩関節MRIでのT2マッピングによる軟骨変性の評価
			◆関節リウマチ、股関節・足関節外科班
			ORA分野 - 生物学的制刻の士閣僚破壊抑制効果
			・生物学的製剤の大関節破壊抑制効果・免疫抑制薬を用いた骨破壊抑制
			・生物学的製剤使用時の手術療法
			・関節エコー所見の病理学的解析
			〇股関節・足関節分野 ・股関節短回旋筋の関節安定性に及ぼす影響
			・各種手術療法の中・長期の臨床成績と問題点
			・各種手術術後のADLおよびQOLの改善
			◆骨軟部腫瘍外科班
			・マウス肉腫における肺転移機構に関する研究
			・CGH(Comparative Genomic Hybridization) 法を用いた骨軟部腫瘍における遺
			伝子解析 ・悪性骨腫瘍に対する既存の化学療法に加えた新たな治療法の開発
			◆脊椎脊髄外科班 • 椎間振展空
			・椎間板研究 ・医原性腰椎疾患の病態
			•傍脊柱筋機能障害病態

講座	役職		氏名	研究
				・脊椎後縦靭帯骨化症の病態・脊柱側弯症の治療
				◆手の外科および上肢の外科班 ・腱癒着・関節が縮の防止に関する研究
産婦人科学	教授	齋藤	滋	・絞扼性神経障害の病態に関する研究・妊娠成立機構
A かんしくい 1	助教	島	₹子	・早産の発症予防
	助教	米田	徳子	・妊娠高血圧症候群の発症メカニズム・不育症、習慣流産
				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
				•腫瘍免疫
				・生殖免疫・母児免疫寛容における制御性T細胞
眼科学	教授	林魚		・眼底画像器械を用いた網膜疾患の解析
	診療准教授			・網膜視細胞の変性に対する神経保護因子の研究
	診療准教授 診療講師		秀一郎 先 慶一	・新しい眼球へのドラッグデリバリーの開発 ・ヒト乾燥羊膜の新たな眼科応用の開発
	診療講師	東條	直貴	・より安全な硝子体手術の開発
	診療講師		朋子	・眼腫瘍の新しい治療のための基礎研究
	助教 助教	古版 中村	晃央 友子	
五 自 四 四 石 八 34	助教	三原	美晴	
耳鼻咽喉科学	副科長(診 療教授)	將碩	日出夫	_
	診療教授	浅井		
	診療教授 診療准教授		宏彰 宝工郎	
	助教		正幸	
	助教	丸山	元祥	
	助教 助教	小林 西田	健— 悠	
泌尿器科学	教授	布施	秀樹	◆尿路性器悪性腫瘍
	准教授 講師	小宮 藤内		・前立腺癌の増殖とInsuline-like growth factor, urokinase type plasminogen activator(u-PA), hepatocyte growth factor(HGF), lipopolysaccharideなど
	講師	野崎	哲夫	各種サイトカイン、Growth factorとの関連についての研究
	助教 助教	渡部 保田		・ボンベシンなど神経伝達物質を用いたヒト前立腺癌細胞株への影響についての研究
	助教		章裕	・マウスアンドロゲン依存性腫瘍SC115を用いて血管内皮細胞増殖因子(VEGF)
	助教		智規	の阻害作用についての研究
	助教	177膝	崇敏	・放射線基礎医学講座と共同で前立腺癌に対する遺伝子治療に用いるための人 エプロモーターの研究
				・腎癌において動物モデルに対する漢方製剤の抗腫瘍効果の検討
				 ◆男性不妊症、雄性生殖生理、性機能障害
				・精液の生化学的解析
				・動物モデルにおける精巣血流測定 ・光顕および電顕レベルでの精巣組織の検討
				・ 精漿の免疫抑制物質の研究
rt 悪九千小 224	44-1-1-2	r I rah	小本	・Leydig細胞の分離・培養法の確立
麻酔科学	教授 診療教授		光章 弘毅	・痛みがどのような機序で発生し、また鎮痛薬がどのようにして効果を発揮する のか(特に中枢神経において)を明らかとするため、行動薬理学的、分子生物学
	診療准教授	山田	正名	的、免疫組織学的なアプローチを用いて研究
	診療准教授 助教		木 利佳 美緒子	・炎症反応の発生機序ならびに治療方法開発 ・各種麻酔薬が中枢神経にどのように作用して、麻酔効果を発揮しているのか
	助教	竹村	佳記	を明らかにし、安全な麻酔薬の開発を目指す
	助教		博史	・単一心筋細胞の収縮・活動電位・膜電流に及ぼす麻酔薬の作用や血管
歯科口腔外科学	助教 教授	増田 野口		平滑筋に対する各種麻酔薬の作用について細胞レベルで検討し、副作用軽減の ・顎変形症の治療と機能評価
	準教授	新井	直也	・骨移植による顎骨の骨造成
	講師 助教		重人 健宏	・骨代謝研究 ・口腔癌の基礎・臨床的研究
	助教		性がさかか	·口腔再生医療
				・口腔手術の安全性向上

講座	役職	氏名	研究
臨床分子病態検	教授	北島 勲	・転写因子とくにNF-κB活性化調節機構を介した分子病態解析
査学	准教授	別府 秀幸	・海馬神経細胞エピジェネティクス異常と記憶・学習・情動障害の解析
	助教	仁井見 英樹	・分子病態検査学的手法による漢方医学診断「症」の解明
			・血栓症急性期反映凝血分子マーカー開発と臨床応用
			・骨形成因子2型受容体(BMPR2)遺伝子を中心に骨形成因子(BMP)シグナル異常と疾患との関連についての研究
			吊と疾患との関連についての研究 ・遺伝子改変マウスを用いた原発性肺高血圧症(IPAH)や大腸ポリープ、先天性
			一、遺伝・以及・プスを用いた原先性前間血圧症は「ハリ・アストリーン、元人性」
和漢診療学	教授	嶋田 豊	・東洋医学における気血水の病態解明(瘀血病態と微小循環, 自律神経機能,
	准教授	引網 宏彰	気血水診断の科学化)
	講師	藤本 誠	・漢方薬, その構成生薬の薬効と作用機序の解明(血流改善作用, 抗酸化作用,
	助教	野上 達也	抗炎症作用, 抗ウイルス作用など)
	助教	井上 博喜	・種々の疾患に対する和漢薬治療効果とその作用機序の解明(脳血管障害, 痴
11.67 1.7.134	## 1==		呆, 関節リウマチ, アトピー性皮膚炎, インフルエンザなどの感染症など)
神経内科学	教授	田中耕太郎	・各種中枢神経疾患・・脳卒中、パーキンソン病、多発性硬化症など
	准教授 助教	高嶋 修太郎 田口 芳治	・各種末梢神経疾患…ギランバレー症候群、CIDPなど ・神経筋接合部疾患… 重症筋無力症など
	助教	ロロ カル 道具 伸浩	・・筋肉疾患…多発筋炎、筋ジストロフィーなど
	1913	但六 作石	・機能的神経疾患・・慢性頭痛、てんかんなど
救急•災害医学	教授	奥寺 敬	・急性期意識障害の判定法の開発
	客員教授	有嶋 拓郎	·災害医学
	講師	若杉 雅浩	・救急トリアージ
	助教	工廣 紀斗司	・シミュレーション教育
> =m 334	.,, 4,, 1=	1011 - 14	・救急医療における患者重症度判定支援システムの導入
心理学	准教授	松井三枝	・統合失調症の認知機能障害の特徴とその神経機構の解明
	特命助教	片桐 正敏	・統合失調症患者への治療的アプローチと効果研究 -
			・脳形態・脳機能および認知機能の発達 ・脳損傷患者や神経疾患患者の神経心理学的機能
			・発達障害の神経心理学的機能の特徴
			・前頭前野機能障害の病態解明に関する神経心理学的研究<科学研究費 基盤
			研究(B)>
			・社会性と認知機能の関連性の探求一社会スキル支援へ向けての基礎的研究へ
			科学研究費 若手研究(B)>
			・ベイリー乳幼児発達検査の日本語版研究(共同)
\$ 4 1 4±=1 337 ===		1-1 1-1-1	・成人に達した先天性心疾患の診療体制の確立に向けた総合的研究(共同)
バイオ統計学・臨	教授	折笠 秀樹	・患者のQOL評価…調査票の開発と方法論の評価
床疫学			・臨床試験…計画と解析、ガイドライン策定及び評価 ・医学データの統計解析…方法と応用、予後予測モデルの開発、服薬遵守の要
			・医学ナータの統計解析…方法と応用、ア後予測モデルの開発、服案遵守の安 因分析、臨床疫学とEBM
			○ガガ、臨床投子CEBM ・脳卒中領域の診療ガイドライン策定…EBMの教育と普及、臨床論文の読み方
-			順子工院多Vでは、カーコンスと LDMV大月と日久、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・